

IBM Db2 Warehouse on Cloud

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。適用できる注文関連文書には、お客様の発注に関する価格設定および追加的な詳細情報が記載されています。

1. クラウド・サービス

1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

1.1.1 IBM Db2 Warehouse on Cloud SMP オファリング

IBM Db2 Warehouse on Cloud SMP オファリングは、オンライン分析アプリケーション処理の開発を支援するマネージド・サービスです。このサービスには、構造化形式でユーザー・データを保管するデータベースが含まれ、サービスのコンソールを介してユーザーの要件に従ってアクセスすることおよびモデル化することができます。サービスのコンソールにより、ユーザーは、テーブルの作成、テーブルへのデータのロード、およびユーザーがロードしたデータの照会を行うことができます。サービスには、オンライン分析アプリケーションの作成を支援するサンプルおよび文書が含まれています。

a. IBM Db2 Warehouse on Cloud SMP Small

64GB RAM の専用サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに1つのデータベース。

b. IBM Db2 Warehouse on Cloud SMP Medium

256GB の専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに1つのデータベース。

c. IBM Db2 Warehouse on Cloud SMP Large

256GB の専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに1つのデータベース。

1.1.2 IBM Db2 Warehouse on Cloud MPP オファリング

IBM Db2 Warehouse on Cloud MPP オファリングは、IBM Db2 Warehouse on Cloud サービスのクラスター構成であり、単一システムとして一緒に管理される独立したデータベース・ノードのセットを構成します。データベース運用は、すべてのデータベース・ノード間で並列処理されます。IBM は、関連するノードを1つのクラスターに構成します。

a. IBM Db2 Warehouse on Cloud MPP Small

ノードごとに 256GB RAM を持つ専用クラスター上のサービス「インスタンス」ごとに1つのデータベース。

b. IBM Db2 Warehouse on Cloud MPP Small for AWS

ノードごとに 244GB RAM を持つ専用クラスター上のサービス「インスタンス」ごとに1つのデータベース。

c. IBM Db2 Warehouse on Cloud MPP Large

ノードごとに 1.5TB RAM を持つ専用クラスター上のサービス「インスタンス」ごとに1つのデータベース。

1.1.3 IBM Db2 Warehouse on Cloud Flex オファリング

IBM Db2 Warehouse on Cloud Flex オファリングは、IBM Db2 Warehouse on Cloud サービスのクラスター構成であり、単一システムとして一緒に管理される独立したデータベース・ノードのセットを構成します。データベース運用は、すべてのデータベース・ノード間で並列処理されます。IBM は、関連するノードを1つのクラスターに構成します。Flex オファリングにより、ユーザーは演算コアおよびストレージ容量を個別に拡張して、サービスのコンソールを通じてデータベース・バックアップを管理できます。コア、メモリー、およびストレージ、あるいはそのいずれかの値には、「クラウド・サービス」のカタログ・ページまたはその他の文書に記載された拡張の上限が適用されます。

a. IBM Db2 Warehouse on Cloud Flex

専用クラスター上のサービス「インスタンス」ごとに1つのデータベース。このデータベース・サーバーには、16の「コア」、186GB RAM、960GB ストレージが割り当てられます。

b. IBM Db2 Warehouse on Cloud Flex Additional Storage

1つの240GB ストレージ増分。月次サブスクリプションとして、または従量課金の時間請求を通して利用可能。

c. IBM Db2 Warehouse on Cloud Flex Additional Compute

16の「コア」、186GB RAM で構成された1つの計算増分。本サービスは、月次サブスクリプションとして、または従量課金の時間請求を通して利用可能です。

d. IBM Db2 Warehouse on Cloud Flex Performance

専用クラスター上のサービス「インスタンス」ごとに1つのデータベース。このデータベース・サーバーには、48の「コア」、864GB RAM、2.4TB ストレージが割り当てられます。

e. IBM Db2 Warehouse on Cloud Flex Performance Additional Storage

1つの2.4TB ストレージ増分。本サービスは、月次サブスクリプションとして、または従量課金の時間請求を通して利用可能です。

f. IBM Db2 Warehouse on Cloud Flex Performance Additional Compute

24の「コア」、432GB RAM で構成された1つの計算増分。本サービスは、月次サブスクリプションとして、または従量課金の時間請求を通して利用可能です。

1.1.4 IBM Db2 Warehouse on Cloud BYOL オファリング

Db2 Warehouse on Cloud Bring Your Own License (BYOL) オファリングには、上記の Db2 Warehouse on Cloud オファリングと同じ構成が含まれていますが、お客様は、この「クラウド・サービス」で使用するためのオンプレミス・ライセンスを提供する必要があります。詳細については、第 5.3 項「Db2 Warehouse on Cloud BYOL に適用可能な条件」を参照してください。

a. IBM Db2 Warehouse on Cloud BYOL SMP Medium

256GB の専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに1つのデータベース。

b. IBM Db2 Warehouse on Cloud BYOL SMP Large

256GB の専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに1つのデータベース。

c. IBM Db2 Warehouse on Cloud MPP Small BYOL

ノードごとに256GB RAM を持つ専用クラスター上のサービス「インスタンス」ごとに1つのデータベース。

d. IBM Db2 Warehouse on Cloud BYOL Flex Performance

専用クラスター上のサービス「インスタンス」ごとに1つのデータベース。このデータベース・サーバーには、48の「コア」、864GB RAM、2.4TB ストレージが割り当てられます。

e. IBM Db2 Warehouse on Cloud BYOL Flex Performance Additional Storage

1つの2.4TB ストレージ増分。本サービスは、月次サブスクリプションとして、または従量課金の時間請求を通して利用可能です。

f. IBM Db2 Warehouse on Cloud BYOL Flex Performance Additional Compute

24の「コア」、432GB RAM で構成された1つの計算増分。本サービスは、月次サブスクリプションとして、または従量課金の時間請求を通して利用可能です。

1.1.5 IBM Db2 Warehouse on Cloud Hybrid Flex

IBM Db2 Warehouse on Cloud Hybrid Flex プランは、IBM Hybrid Data Management Platform サブスクリプション・オファリングを購入されているお客様にのみ提供されます。

IBM Db2 Warehouse on Cloud Hybrid Flex プランは、専用クラスター上に1つのSQL データベースを提供します。「インスタンス」の各使用許諾について、データベース・サーバーには、48のプロセッサ・コア、864 GB RAM、ならびにデータおよびログに対する2,400 GBのストレージが含まれ、これらはお客様によって割り当てられます。追加の計算リソースまたはストレージ・リソースを適用して、この基本構成を超える拡張が可能です。料金は、IBM Hybrid Data Management Platform の「サービス記述書」に定められています。

上記のコア、メモリー、およびストレージ、あるいはそのいずれかの値には、「クラウド・サービス」のカタログ・ページまたはその他の文書に記載された拡張の上限が適用されます。

1.2 アクセラレーション・サービス

1.2.1 IBM Db2 Warehouse on Cloud Jump Start

IBM はスタートアップ・アクティビティーについて最大 50 時間のリモート・コンサルティング時間を提供します。これには以下が含まれます。(1) ユース・ケースによる支援、(2) レポート、ダッシュボードおよびその他システム・ツールのベスト・プラクティスに関する指導、(3) 初期データ・ロードの準備、実行および検証に関するガイドによる支援およびアドバイス、(4) その他管理および構成に関して関心のある主題。(以下総称して「スタートアップ・アクティビティー」といいます。)。サービスは「エンゲージメント」ごとに購入されます。

1.2.2 IBM Db2 Warehouse on Cloud Accelerator

IBM は、「スタートアップ・アクティビティー」、または1つ以上の相互に同意した「取引文書」において購入時に明記し、範囲を規定した他の活動の実施について、最大 50 時間のリモート・コンサルティング時間を提供します。サービスは「エンゲージメント」ごとに購入されます。

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」)のほか、以下のリンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」)にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、対象となる処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、DPA が適用されます。

Db2 Warehouse on Cloud

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=1411673289475>

Db2 Warehouse on Cloud on AWS

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=58EE4EA00CB711E6B4A6CF14C90731CD>

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。)をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック (https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html) に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.5% 未満	10%
99.0% 未満	25%

*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート(サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど)を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

4. 料金

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「エンゲージメント」とは、「クラウド・サービス」に関するプロフェッショナル・サービスまたはトレーニング・サービスです。
- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。
- 「仮想プロセッサ・コア」は、標準容量の仮想化されたプロセッサで、「クラウド・サービス」で利用できるか、または「クラウド・サービス」により管理されるものになります。
- 「仮想プロセッサ・コア - 時間」は、「クラウド・サービス」に割り当てられた、「クラウド・サービス」に提供される、または「クラウド・サービス」により管理される、標準容量の仮想化されたプロセッサについての1時間ごとの使用をいい、端数は1時間単位で切り上げられます。
- 「ギガバイト」(「GB」)とは、「クラウド・サービス」によって処理されるか、「クラウド・サービス」において使用、保管、または構成される2の30乗バイトのデータとして定義されます。
- 「ギガバイト - 月」は、「クラウド・サービス」で使用、保管、または構成された、1か月の平均「ギガバイト」数で、端数は「ギガバイト」単位で切り上げられます。

4.2 リモート・サービス料金

リモート・サービスを使用したか否かにかかわらず、リモート・サービスは購入日から90日後に満了となります。

5. 追加条件

2019年1月1日よりも前に締結されるクラウド・サービス契約書(または同等のクラウド基本契約)については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。

5.1 イネーブリング・ソフトウェア

「クラウド・サービス」には以下の「イネーブリング・ソフトウェア」が含まれます。

イネーブリング・ソフトウェア	適用されるライセンス条件(ある場合)
IBM Data Server Driver Package v11.1	http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/A13348EC3D451D5F852580890042140B?OpenDocument
IBM Data Server Manager Enterprise v2.1	http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/lilookup/F0B7F3B557A73D4C852580830079A197?OpenDocument

イネープリング・ソフトウェア	適用されるライセンス条件 (ある場合)
IBM Data Studio v4.1	http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/8EE7B373D3B303F085257EC40040DDE0?OpenDocument
IBM Database Conversion Workbench v4.0	http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/1DB8E7F370D1B84E85257FA3004F99BF?OpenDocument
IBM InfoSphere Data Architect v9.1	http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/2BB03C6D51BC9FC385257EC40040DFC5?OpenDocument

5.2 Db2 Warehouse on Cloud MPP Small for AWS に適用可能な条件

お客様の「クラウド・サービス」使用許諾が「AWS 用」と指定されている場合には、以下の条件が適用されます。

「クラウド・サービス」のアプリケーション層、ならびにお客様のデータおよびコンテンツは、IBM が運用していない、第三者クラウド・サービスのインフラストラクチャーおよびプラットフォーム上で稼動します。「クラウド・サービス」インフラストラクチャー、「クラウド・サービス」プラットフォームの特定の側面、および関連サービス(データセンター、サーバー、ストレージ、ネットワーク、アプリケーションおよびデータのバックアップ、ファイアウォールおよび脅威検知、ならびにアプリケーション・デプロイメント、モニタリングおよび運用向けの API を含みます。)(以下、総称して「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」といいます。)は第三者プロバイダーによって運営・管理されます。従って、本「サービス記述書」、または本「クラウド・サービス」の提供条件となる基本サービス契約(例:「IBM クラウド・サービス契約書」)(以下「基本契約」といいます。))のいかなる規定にも関わらず、以下の定めが適用されます。

- 「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」のプロバイダーが、自らのサービスを終了した、または IBM もしくはお客様のかかるサービスへのアクセスを中止したことを IBM に通知した場合、IBM は、(i) 機能的に同等の IBM がホストする「クラウド・サービス」オフリングへのアクセスをお客様に提供する、または(ii) お客様に終了通知を提供することにより第三者プロバイダーによるかかる終了の効力が発生する日をもって「クラウド・サービス」を直ちに終了することができます。
- IBM は、「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」に関して、または「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」に依存している範囲における「クラウド・サービス」に関して、明示または黙示を問わず、いかなる条件も設けず、いかなる保証責任も負わないものとします。

5.3 IBM Db2 Warehouse on Cloud BYOL オフリングに適用可能な条件

BYOL (Bring Your Own License) オフリングでは、お客様は、下表に明記された関連 IBM プログラムの適切なライセンス資格を事前に取得する必要があります。BYOL に対するお客様の使用許諾は、下記の比率で、関連 IBM プログラムに対するお客様の使用許諾を超えることはできません。

BYOL オフリングには、関連 IBM プログラムのサブスクリプション & サポートは含まれていません。お客様は、関連 IBM プログラムに対する適用可能な (1) ライセンス資格、および (2) サブスクリプション & サポートを予め取得していることを表明するものとします。BYOL オフリングのサブスクリプション期間中、お客様は、BYOL オフリングの使用許諾と併せて使用する IBM プログラム使用許諾の現在のサブスクリプション & サポートを維持する必要があります。関連 IBM プログラムを使用するためのお客様のライセンス、または関連 IBM プログラムのお客様のサブスクリプション & サポートのいずれかが終了した場合、お客様の BYOL オフリングを使用する権利は終了します。

下表は、規定された対応する使用許諾に基づいた BYOL オフリングの使用に必要な関連 IBM プログラムの使用許諾の比率の概要を説明したものです。

お客様は、以下の期間(以下「同時使用期間」といいます。)にわたって、BYOL オフリングのお客様による使用と同時に、関連する IBM プログラムを導入するために BYOL オフリングの使用に適用される、関連する IBM プログラムの使用許諾を引き続き使用できます。サブスクリプション期間が 1 年のお

お客様については、BYOL オファリングの初期サブスクリプションをお客様が開始してから 90 日以内。サブスクリプション期間が 1 年を超えるお客様については、BYOL オファリングの初期サブスクリプションをお客様が開始してから 1 年以内。「同時使用期間」の終了後、BYOL オファリングを使用する間、BYOL オファリングの使用に適用される関連 IBM プログラムに対するお客様の使用許諾は中断され、お客様はそれ以降、当該使用許諾を使用して、関連 IBM プログラム (規定された例外の対象) をデプロイすることはできません。

関連 IBM プログラム	BYOL オファリング	比率 n/m*
IBM Db2 Advanced Enterprise Server Edition	a. IBM Db2 Warehouse on Cloud BYOL SMP Medium b. IBM Db2 Warehouse on Cloud BYOL SMP Large c. IBM Db2 Warehouse on Cloud MPP Small BYOL d. IBM Db2 Warehouse on Cloud BYOL Flex Performance	a. 比率: 1260 PVU/1 インスタンス b. 比率: 1260 PVU/1 インスタンス c. 比率: 980 PVU/1 インスタンス d. 比率: 3360 PVU / 1 インスタンス
IBM Db2 Advanced CEO IBM Db2 Developer Edition	a. IBM Db2 Warehouse on Cloud BYOL SMP Medium b. IBM Db2 Warehouse on Cloud BYOL SMP Large c. IBM Db2 Warehouse on Cloud MPP Small BYOL d. IBM Db2 Warehouse on Cloud BYOL Flex Performance	比率: 1- N の許可ユーザー/1 インスタンス**/**

* 「比率 n/m」は、関連 IBM プログラムに対して示された測定基準の使用許諾数ごと (以下「n」といいます。) に対して、お客様が当該使用許諾を、BYOL オファリングに対して示された測定基準について記載された数 (以下「m」といいます。) の使用許諾に適用できることをいいます。

** Db2 Advanced CEO Offering および Db2 Developer Edition に関する例外: 上記の条件にかかわらず、お客様が Db2 Advanced CEO Offering または Db2 Developer Edition のいずれかの「許可ユーザー」使用許諾を BYOL オファリングに適用する場合、お客様の「許可ユーザー」使用許諾の合計は、その数量に関係なく、BYOL オファリングに対する 1 つの「インスタンス」使用許諾に適用できます。ただし、以下の追加条件に基づきます。(1) お客様は、お客様による BYOL オファリングの使用と同時に、お客様による関連 IBM プログラムのデプロイメントに対してすべての「許可ユーザー」使用許諾を引き続き使用できますが、(2) お客様が関連 IBM プログラムに対して使用許諾を有する「許可ユーザー」のみが BYOL オファリングにアクセスしたり、使用したりできることが条件となります。

*** Db2 Developer Edition の例外: 上記の制限に加え、お客様が Db2 Developer Edition の使用許諾を BYOL オファリングに適用する場合、お客様による BYOL オファリングの使用は、「非実稼働」使用のみに制限されます。「非実稼働」とは、BYOL オファリングが、お客様の内部非実稼働活動用のお客様内部の開発およびテスト環境の一部としてのみ、使用することができることをいいます。非実稼働活動には、テスト、性能調整、故障診断、内部ベンチマーク、ステー징、品質保証活動または公開されたアプリケーション・プログラミング・インターフェースを使用する社内使用の BYOL オファリングに対する追加もしくは拡張の開発が含まれますが、これらに限られません。お客様は、「クラウド・サービス」のいかなる部分も、実稼働に関する適切な使用許諾を取得せずに、その他の目的で利用することはできません。

5.4 コンテンツおよびデータ保護に関する機能および責任

「クラウド・サービス」には、以下のセキュリティー機能が実装されています。

「クラウド・サービス」のプロビジョニングの際に、1 人の管理ユーザーがお客様のために作成されます。Db2 Warehouse on Cloud コンソールでは、追加のユーザーを作成する機能が管理ユーザーに提供されます。

お客様は、コンソールによって定義されたユーザー、およびユーザーに割り当てられたアクセスのレベルを管理する責任を全面的に負うものとします。

管理ユーザーおよび標準ユーザーのどちらも、「クラウド・サービス」の外部で実行される IBM Db2 クライアント・プログラムを使用して、「クラウド・サービス」のデータ・ストアに直接アクセスすることができます。お客様は、お客様の要件に従って、かかるアクセスがセキュリティー保護されるようにする責任を全面的に負うものとします。例えば、お客様は、ネットワーク・トラフィックの保護のために SSL が使用されるように、クライアントを設定することができます。

本「クラウド・サービス」では、お客様は、テーブルなどの一定のデータベース・オブジェクトに関連するアクセス権限を管理することができます。お客様は、かかるアクセス権限について、割り当て、管理、および見直しを行う責任を全面的に負うものとします。

「クラウド・サービス」のデータベースは自動的に暗号化されます。暗号化には、256 ビット長の鍵を伴う、Cipher-Block Chaining (CBC) モードによる Advanced Encryption Standard (AES) が使用されます。また、データベースのバックアップ・イメージは、自動的に圧縮および暗号化されます。バックアップ・イメージは、256 ビット長の鍵を伴う、CBC モードによる AES を使用して暗号化されます。

6. オーバーライド条件

6.1 医療情報に関するコンテンツおよびデータ保護

両当事者間の「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」の条件にいかなる矛盾する規定があっても、以下の条件が優先します。

「1996 年米国における医療保険の相互運用性と説明責任に関する法令」(以下「HIPAA」といいます。) および本「クラウド・サービス」で「医療情報」および「医療」データを「個人データの種類」および「個人データの特殊カテゴリー」(以下総称して「医療データ」といいます。) またはそのいずれかの許可される使用に関して、本「クラウド・サービス」の「データ・シート」に記載された情報にかかわらず、本「クラウド・サービス」による「医療データ」の使用には以下の制限事項および条件が適用されます。

以下の Db2 Warehouse on Cloud オファリングのみが、「医療データ」の使用に関する「HIPAA プライバシーおよびセキュリティー規則」に基づいて求められる制御を実装するために実施されるプロビジョンの対象です。

- IBM Db2 Warehouse on Cloud SMP Medium
- IBM Db2 Warehouse on Cloud SMP Large
- IBM Db2 Warehouse on Cloud MPP Small
- IBM Db2 Warehouse on Cloud MPP Large
- IBM Db2 Warehouse on Cloud Flex
- IBM Db2 Warehouse on Cloud Flex Performance

上記オファリングは、お客様が IBM に、お客様が「クラウド・サービス」で「医療データ」を使用することを事前に通知し、IBM が書面により、「クラウド・サービス」が「医療データ」の使用のためにプロビジョニングされることを確認した場合、「医療データ」の使用に対して「HIPAA プライバシーおよびセキュリティー規則」の制御を実装するためにのみ提供されます。したがって、「クラウド・サービス」は、HIPAA に基づいて保護されている「医療データ」の伝送、保管、またはその他の使用のために使用することはできません。ただし、(i) お客様が IBM にかかる通知を提供する場合、(ii) IBM とお客様が適用される「事業提携契約」を締結している場合、および (iii) IBM がお客様に「クラウド・サービス」を「医療データ」と併用できる旨の明示的な確認書を提供する場合は、この限りではありません。

いかなる場合も、HIPAA の意義の範囲内で医療情報センターとして「医療データ」を処理するために「クラウド・サービス」を使用しないものとします。